

令和元年度社会福祉法人南砺市社会福祉協議会事業報告

本年は、「平成」から「令和」へ新しい元号となり、消費税が増税された年でした。夏から秋にかけては、台風や豪雨により日本中で大きな風水害が発生し、被災地となった長野県の災害ボランティアセンターへ職員を派遣しました。また、冬季は暖冬により雪害等はありませんでしたが、1月から流行し始めた新型コロナウイルス感染症の影響によって、市民の活動等が制限され、日常生活に大きな支障をきたしています。当会においても、地域活動の自粛要請や事業の中止、施設利用者・利用料収入の減少などの影響を受けました。

変革の多い年でもあり、市内28地区では、小規模多機能自治組織「地域づくり協議会」が設立され、活動が開始されました。この組織には、従来の地区社協の役割が福祉関連部会として組み込まれ、これまでの活動が継承されています。新組織への対応として、当会との連携により地域内の事業が円滑に実施できるよう「地域に寄り添った支援」を意識した職員のチーム制、アウトリーチ（訪問支援など）、情報の整理や発信に取り組み、役員や関係者の皆様にも、当会が主催する説明会等で活動の連携についてご理解をいただくことに努めました。

当会の組織体制および運営については、市庁舎の統合に伴った福光支所の旧吉江保育園への移転が6月に完了し、新たな事務所で支所業務を再開しました。また、平・井口支所の支所長を兼務とする職員配置とし、事務の効率化を図りました。介護事業では、介護職員の退職等による職員不足に対応するため、本支所職員による応援の実施や新たな介護職員確保のために広く募集に努めましたが、人員不足は未だ厳しい状況が続いています。

地域福祉事業においては、昨年度から引き続き、市からの受託事業により、日常生活圏域に1名ずつ計5名の生活支援コーディネーターを配置し、圏域ごとに連絡会を開催しました。その連絡会では、福祉活動の担い手の方々と地域の課題について情報共有を図り、状況の変化や新たな課題の発見とその解決策について協議しました。

また、新規事業として、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰でも集える居場所づくりを推進するため、「地域食堂モデル事業」を開始し、13地区16か所で地域づくり協議会と連携して実施しました。

生活困窮者自立支援事業では、現に経済的に困窮し、社会的にも孤立状態にある生活困窮者に対して、生活相談、就労・家計改善等に関する支援を、市や地域と連携して包括的に進められるよう努めました。早急に対応する必要がある相談者には、生活困窮者支援給付モデル事業において、安定した生活を送れるよう状況に応じて食料や燃料費等の現物を給付する支援を開始しました。

昨年度より検討を重ねてきた会費や共同募金の活用については、事業や要綱等の見直しにより次年度実施の準備を整え、その周知に努めました。

1 法人運営部門

1 法人運営事業

(1) 本所、支所の運営管理

事務所の管理運営及び社協活動車両8台の維持管理。

(2) 理事会の開催

理事12名。業務執行上の事項及び当面する課題について協議。

回	開催日	議案
1	5月31日	①H30年度事業報告 ②H30年度収支決算 ③R1年度補正予算（第1次）④評議員選任・解任委員の補充選任 ⑤役員選任規程の一部改正 ⑥評議員選任規程の一部改正 ⑦次期役員候補者の選定 ⑧福光支所移転の承認 ⑨定時評議員会（第1回評議員会）の招集 報告（会長の職務執行状況等）
2	6月19日	⑩会長及び副会長の選定 ⑪常務理事の承認 ⑫評議員選任・解任委員の補充選任 ⑬評議員候補者の選定 ⑭第1回評議員選任・解任委員の招集 ⑮評議員選任規程の一部改正
3	10月1日	⑯補正予算（第2次）⑰南砺市平・上平・利賀デイサービスセンター運営規程及び南砺市利賀基準該当障害福祉デイサービスセンター運営規程の一部改正 ⑱第2回評議員会の招集
4	11月26日	【決議の省略】⑲第3回評議員会の招集
5	12月19日	⑳給与規程の一部改正 ㉑補正予算（第3次）㉒評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正 ㉓評議員候補者の選定 ㉔第2回評議員選任・解任委員会の開催 承認①苦情解決第三者委員の承認 報告（会長の職務執行状況等）
6	2月14日	【決議の省略】㉕第4回評議員会の招集
7	3月24日	㉖就業規則の一部改正 ㉗臨時職員等雇用規程の一部改正 ㉘表彰規程の一部改正 ㉙補正予算（第4次）㉚R2年度事業計画（案）㉛R2年度収支予算（案） ㉜弔慰規程の一部改正 ㉝令和元年度第6回理事会における理事会議案第25号「R1年度第4回評議員会の招集について」の決議内容の一部変更

(3) 評議員会の開催

評議員23名。業務執行上の重要事項について審議、決定。

回	開催日	議案
定時 (1)	6月18日	①H30年度事業報告 ②H30年度収支決算 ③R1年度補正予算（第1次） ④役員選任規程の一部改正 ⑤次期役員の選任
2	10月10日	⑥補正予算（第2次）
3	12月24日	⑦補正予算（第3次）
4	3月30日	【決議の省略】 ⑧補正予算（第4次）⑨R2年度事業計画（案）⑩R2年度収支予算（案）

(4) 評議員選任・解任委員会の設置

委員3名。理事会の推薦を受けて評議員の選任について審議し、決定。

回	開催日	内容
1	7月9日	評議員候補者の選任（9名）
2	12月23日	【決議の省略】評議員候補者の選任（3名）

(5) 監査会の開催

監事3名。運営管理、事業の執行状況及び財産の状況についての監査を実施。

回	開催日	内 容
1	5月15日	H30年度監査
2	7月24日	4～6月分、固定資産・施設・支所の現地監査（利賀・ホームヘルプ・つつじ荘）
3	10月30日	7～9月分、固定資産・施設・支所の現地監査（平・上平）
4	1月28日	10～12月分

(6) 役員等研修の実施

- ・ 県社会福祉大会への参加
10月24日 富山県民会館 28名参加
- ・ 市町村社会福祉協議会役職員研修会
3月12日 富山県民会館 7名参加
講義：「社会的孤立を防ぐための包括的な支援と社会福祉協議会に求められる役割」

(7) 社会福祉法人地域公益活動推進事業

県社協の助成事業

7月2日、南砺市社会福祉法人連絡会を設立。市内8つの社会福祉法人が連携し、それぞれがもつ専門性や資源を活用しながら「地域における公益的な取組み」を進めた。

- 「出張相談会」・・・会員法人の専門職による出張相談会を市内ショッピングセンターで実施。
- 「ふくし出前講座」・・・各法人の分野や特性を活かした14の講座メニューをつくり出前講座を年5回実施。

(8) 表彰選考委員会の開催

8月21日 市社協会長表彰候補者の選考

(9) 指定管理者制度への対応

城端老人福祉センター「美山荘」（指定管理期間：H30.4.1～R3.3.31）の指定管理者として、また五箇山ホームヘルプステーションおよび平・上平・利賀デイサービスセンター、平生活支援ハウス（指定管理期間：H29.4.1～R6.3.31）の指定管理者として管理運営した。

(10) 職員研修体制の充実

内部研修及び外部研修への参加により職員の資質向上を図った。

【職員研修の実施】

内部研修

- | | | |
|--------|-----|--|
| 9月11日 | 講師 | 富山県社協 地域福祉・ボランティア振興課 課長 水井 勤 氏 |
| | 参加者 | 29名 |
| | 内容 | 災害救援ボランティアセンター立上げ訓練を通してマニュアルを再確認しながら、ボランティアセンターの役割や運営方法等について学ぶ。 |
| 11月26日 | 講師 | 富山県福祉サービス運営適正化委員会 事務局次長 宮崎 博嗣 氏 |
| | 参加者 | 25名 |
| | 内容 | 職員が必要を感じているヒヤリハットやクレームへの対応・共有方法を検討し、地域住民に対するサービスの質の向上を図り、地域に信頼される社協を目指す。 |

外部研修

日 付	研 修 名	主 催	参加人数
<総務・企画係主管>			
6月20日～21日	中堅職員研修（キャリアパス対応）	県福祉カレッジ	1名
7月3日～4日	中堅職員研修（キャリアパス対応）	県福祉カレッジ	2名

7月30日	社会福祉会計簿記 入門講座	総合福祉研究会	2名
10月3日～4日	初任者研修（キャリアパス対応）	県福祉カレッジ	1名
11月12日	社会福祉法人セミナー	県福祉カレッジ	1名
11月19日～20日	チームリーダー研修（キャリアパス対応）	県福祉カレッジ	1名
11月28日～29日	東海北陸ブロック市町村社協職員研究集会	愛知県社協	1名
12月6日	社会福祉法人経理事務研修	県経営協議会	1名

<在宅福祉係>

5月16日	地域ケア合同研修会	南砺市	1名
10月23日	地域密着型通所介護事業所研修会	南砺市	3名
10月23日、30日、11月14日		富山県	1名
	サービス提供責任者研修会	富山県	1名
12月17日	在宅医療・保健・福祉地域連携支援研修会	砺波厚生センター	2名
12月19日	地域ケア合同研修会	南砺市	1名
1月28日、2月4日	難病患者等ホームヘルパー養成講座	県社協	1名

<地域福祉係>

6月11日	ボランティアコーディネーター研修	県社協	2名
6月19日	生活支援コーディネーター養成研修	富山県	2名
7月4日～5日	ケアネット活動コーディネーター研修会①	県社協	2名
7月12日	第1回地域づくり勉強会～地域円卓会議について～	南砺市	3名
7月21日、8月3日、9月25日			
	災害救援ボランティアコーディネーター養成研修	県社協	1名
8月23日	富山県福祉教育セミナー	県社協	1名
10月30日	ケアネット活動コーディネーター研修会②	県社協	1名
11月7日	高齢者・障害者消費生活見守り研修会	富山県	1名
1月30日	社会福祉協議会地域福祉実践研究発表会	県社協	3名
2月14日	コミュニティソーシャルワーク実践者フォローアップ研修	県社協	1名

<福祉サービス係>

6月12日～14日	家計改善支援事業従事者養成研修	全社協	1名
12月12日	生活困窮者自立支援事業・生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	県社協	2名
1月29日～31日	専門員実践力強化研修会Ⅱ	全社協	1名
3月18日	新型コロナウイルス感染症にかかる生活福祉資金特例貸付説明会	県社協	1名

(11) 災害ボランティアセンターへの派遣

- ・台風19号被災 長野市災害ボランティアセンターへ職員を派遣（1名）
派遣期間：11月20日～25日

(12) 実習生の受入れ

- ・社会福祉士養成課程における相談援助実習
実習生：長野大学2年生 1名
実習期間：8月19日～9月6日、2月17日～28日（計180時間）
実習生：富山国際大学3年生 1名
実習期間：8月19日～25日、2月12日～3月10日（計180時間）

(13) 苦情解決体制

- ・社協内に苦情受付担当者、責任者を置くとともに、社協外の体制として第三者委員3名を設置した。
- ・苦情解決に必要な知識、技術の習得するための研修会に参加した。
11月22日 福祉サービス苦情解決研修会 パレプラン高志会館
(第三者委員1名、職員1名参加)
- ・苦情解決に必要な情報や記録の記載の仕方など話し合った。
2月26日 福祉サービス苦情解決研修会 福光支所
(第三者委員3名、職員3名参加)

(14) 経営基盤の強化

- ・住民や市内企業等へ社会福祉協議会会員加入及び会費納入を依頼し、地域福祉活動の資金として活用した。

	H29年度	H30年度	R1年度
一般会員（個人）	14,072	13,943	13,632
賛助会員（企業）	247	247	235
特別会員（個人）	191	189	204

- ・身近に感じ、理解が得られるよう、会費の使途を検討した。

(15) 主な修繕（10万円以上）

- ・利賀支所 事務室照明修繕 207,360円
- ・福光支所移転電気設備変更 116,640円

(16) 固定資産取得支出（10万円以上）

- ・建物取得 福光支所移転ネットワーク工事一式 756,000円
- ・器具備品取得 ノートパソコン 8台 993,600円

(17) 職員11名の人件費

2 委員会活動事業

(1) 南砺市地域福祉活動計画推進連絡会議の開催

委員15名、アドバイザー1名

地域における福祉活動推進状況を把握し、本会の支援内容を評価するとともに、今後の地域福祉活動への支援や取り組みを検討。

回	開催日	内 容
1	9月19日	令和元年度事業、居場所づくり事業の実施状況 等
2	2月21日	令和元年度の取り組み、第3次計画の評価及び次年度の取り組み 等

3 基金運営事業

(1) 地域福祉振興積立金の管理

地区社協へ助成するための積立金取崩及び事業収益の積立。

- ・社会福祉事業振興基金 100,000,000円
- ・地域福祉振興積立金

H30年度末積立金額	R1年度積立て額	R1年度取崩し額	R1年度末積立金額
66,490,000 円	1,500,000 円	3,020,000 円	64,970,000 円

4 退職手当積立事業

(1) 全国社会福祉団体職員退職手当基金

正規職員29名の加入。5月末1名退職。年度末現在28名。

5 名士作家作品頒布事業

(1) 【終】名士作家作品頒布展の開催

県内外の名僧名士67名の皆様より寄附していただいた軸物・陶芸・色紙等の作品を、一般市民に頒布した。

開催期間 9月27日～30日

来場者数 延べ140名

出展数 色紙84点 軸物2点 工芸6点 絵画7点 合計99点

収益 515,782円

2 地域福祉推進部門

6 地域総合福祉推進事業

(1) 地域総合福祉推進事業（ケアネット型）助成

要支援者に対する見守りなどの活動費や、活動者や地域住民を対象とした研修会等の経費として、30地区の地域づくり協議会・地区社協へ上限25万円（総額7,050,000円）を助成した。
《ケアネット活動実績》

	H29年度	H30年度	R1年度
ケアネットチーム数（チーム）	234	192	187
ケアネットチーム員数（人）	876	874	882
支援対象者数（人）	981	1,097	1,169
支援回数（延べ回数）	42,604	46,129	45,533

(2) ケアネットセンター運営事業

ケアネット活動の推進と活動者の支援を目的に、ケアネット活動コーディネーターを配置し、ケアネットチーム員と関係機関等との連絡調整や、地域住民を対象とした研修会等を実施した。

① ケアネット活動普及啓発と地域づくり協議会・地区社協への支援

- ・各地区のケアネット研修会や連絡会での事業説明と活動助言 20回
- ・地域づくり協議会、地区社協との活動相談件数 117件 / 地区訪問件数 150件

② 個別支援への対応

	H29年度	H30年度	R1年度
ケアネット訪問件数	25	25	56
ケース会議の開催（参加含む）	30	24	26
新規サービスプログラム数	5	4	10

③ 関係機関との連携

- ・24時間定期巡回サービス事業所、市地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、および市社協の合同連絡会を2ヶ月ごとに開催しており、ケースごとの多職種連携を進めた。
- ・各地域の要保護児童対策地域協議会に出席した。

(3) 【強】 ケアネットチーム員研修会の開催

開催日	①7月11日 ②7月18日
会場	①福野体育館 ②井口社会福祉センター
参加者	95名（①50名、②45名）
講師	富山福祉短期大学 教授 宮嶋 潔 氏
内容	ケアネットチーム員を対象に、市内のケアネット活動の取り組みを報告。また、高齢者のみ世帯の事例をもとにグループ討議し、必要な支援について考えた。
成果	具体的な事例を通して、どのような支援が必要か考えを深める機会となった。また、活動者同士でケアネット活動に対する悩みや意見交換することができた。

(4) 小規模多機能自治への対応および地区福祉活動連絡会の開催

開催日	6月25日
会場	南砺市福野体育館 会議室
参加者	68名
内容	地域づくり協議会福祉関係者や事務局の方を対象として市社協の事業説明と意見交換を行った。
成果	南砺市での福祉活動の方向性や具体的な進め方について、地区の関係者と市社協が確認し、共通理解を図った。

※3月10日に地区福祉活動連絡会を予定していたがコロナウイルス感染防止のため中止とした。

(5) ふくし出前講座の開催

社協事業の紹介、福祉活動への協力を呼びかけるため市社協職員による（時には地域福祉サポーターやゲストティーチャーとともに）出前講座を実施した。

車いす体験等ができる「ふくし体験」を講座メニューに追加。校長会で出前講座の周知を行うなど、小・中学校へ出向く機会が増えるよう取り組んだ。

・開催回数 45か所 50講座実施

・内容内訳

(回)

講座名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
	社協概要・活動計画	共同募金	いのちのバトン	ケアネット	ボランティア	災害ボランティア	サロンの効果	金銭管理	ふくし体験	
実施回数	3	2	7	6	3	6	16	2	5	50

(6) いのちのバトン事業

広報「なんとの福祉」にて事業の特集記事を掲載し、情報用紙更新の周知を図った。

また、ふくし出前講座にて、情報用紙を記入しながら重要箇所、実際に使用された例を説明し参加者にいのちのバトンの必要性を伝えた。

(7) 第3次南砺市地域福祉活動計画（2年目）の推進

①活動計画「地区での取り組み」の周知と推進

本計画の「地区での取り組み」を推進するため、6月25日の地区福祉活動連絡会で地区の福祉活動計画を作成することを勧めた。また、日常生活5圏域にわかれて実施した連絡会で地域の現状と課題を認識し、取り組めそうなことを話し合ったことにより、課題に対応する取り組みを計画する地区が増えてきた。

地区の福祉活動計画 2地区作成（R1年度末）

②アンケートの実施

本計画の進捗状況を評価する目的で、31地区対象にアンケートを実施した。福祉活動者202名と、参加者・利用者等309名へのアンケートも実施した。

③評価および次年度に向けて

評価報告書にまとめ、2月21日の南砺市地域福祉活動計画推進連絡会議にて協議された。

(8) 固定資産取得支出（10万円以上）

・器具備品取得 ノートパソコン4台 496,800円

(9) 職員10名の人件費

（ケアネット活動コーディネーター1名含む）

7 地域福祉ネットワーク事業

地域福祉ネットワーク事業

小地域において、福祉教育を推進し、地域支え合いによる地域の援助者を支えるしくみづくりとネットワーク化を図り、住民の安心安全な日常生活の確保に努めた。

(1) 【強】支え合いマップづくり実践講座の開催

支え合いマップづくりを通して、要支援者や地域課題を把握するため、4地区にて実施。

	開催日	開催	会場	参加者	実施集落
①	5月23日	福野北部地区	北部交流センター	36名	野尻古村、野尻川原 本江、若竹町、上津 柴田屋、二日町、高儀 長源寺、川除新、若武新
②	6月20日	南山見地区	八乙女サロン会館	50名	院瀬見1～4区、東城寺 清玄寺、連代寺、志観寺 谷、戸板、里領、川原崎 沖、南山見新
③	2月8日	福野東部地区	福野東部交流センター	57名	高堀、上野、野尻野 松原、年代、百町、苗島 焼野、福野軸屋、野新
④	3月14日	広瀬館地区	広瀬館交流センター	24名	祖谷、小坂、館
内 容	住宅地図を使い、地域の生活課題や社会資源等を掘り起こし、住民同士の支え合いによる解決を探る。 また、今後地区ごとにマップの更新を実践できるよう、手法、手順を参加者と共有する。				
成 果	高齢世帯だけでなく、障がい者世帯や支援を必要とする世帯や、地域の特徴や強みを住宅地図を使い可視化しながら情報共有した。 地域住民が主体となって、ご近所での支えあいやケアネット活動の方法を検討する場となった。				

(2) 【強】居場所づくり事業

年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが気軽に集うことができる居場所づくりとして、地域食堂モデル事業を実施。あたたかい食事の提供を通じた世代間交流や地域での孤立防止を目的に、開催地区を募集。開催を希望した13地区（16か所）の地域づくり協議会と連携して17回開催した。

13地区 16か所 17回 参加人数 896人

名称	地区名	開催日	参加人数
ささゆり食堂	南蟹谷地区	7月 9日（火）	53名
わいわい食堂	高瀬西地区	7月20日（土）	44名
南山見地域食堂	南山見地区	7月29日（月）	29名
ふれあい食堂	石黒地区	7月30日（火）	93名
藁谷地域食堂	藁谷地区	7月30日（火）	29名
山田ふれあい食堂	山田地区	7月31日（水）	75名
西太美地域食堂	西太美地区	8月 7日（水）	40名
		8月28日（水）	40名
なかよし食堂	太美山地区	8月 8日（木）	54名

ひろせたち地域食堂	広瀬館地区	8月20日（火）	42名
北山田地域食堂	北山田地区	8月25日（日）	43名
みなくる食堂	南山田地区	11月7日（木）	60名
なかよしキッチン	福野中部地区	11月17日（日）	50名
吉江ふれあい食堂	吉江地区	11月24日（日）	120名
ふれあい食堂	福野中部地区	11月24日（日）	24名
スマイル食堂	福野中部地区	12月1日（日）	50名
ほっこり食堂	福野中部地区	12月13日（金）	50名

（3）買い物支援事業

山間過疎地域の買い物バスの運行を継続して実施するとともに、地域へ伺う機会を通じて買い物に対するニーズ把握を行った。

- ・ 外出・移動・買い物に関するニーズ調査

サロン参加者に、外出や移動、買い物に関するアンケートを実施。

実施期間 11月～12月

実施場所 サロン6か所 81名回答

- ・ 【終】 買い物バスの運行（上平地域）

高齢者福祉施設交流事業の送迎バスを利用し、地域内の商店へ出向いた。

実施時期 4月～2月

実施回数 11回

利用者 延べ34名

（4）職員1名の人件費

8 総合相談所運営事業

（1）ふくし総合相談センターの設置

市民の相談を総合的に受ける窓口を本支所に設置し、職員が随時相談に応じた。

相談者に寄り添いながら関わりを継続したり、必要に応じて専門機関へつなぐなど、相談内容の解決に向けて対応した。

相談カレンダー 全戸配布 年2回

令和元年度 新規相談受付 193件 （H30年度 171件 / H29年度 167件）

相談者の状況	ひとり暮らし	高齢者のみ世帯	その他、不明	計
	46	12	135	193

（延件数）

相談内容	生活支援	送迎サービス	資金貸付	ケアネット	傾聴ボランティア	ボランティア	心配ごと	生活困窮・家計相談	計
延べ件数	20	4	12	18	4	1	129	11	199

(2) 心配ごと相談・法律相談の定期開催

【心配ごと相談】

どこに相談して良いか分からないような日常生活の困りごとについて、心配ごと相談員が親身に相談を受け、必要に応じ適切な専門機関へつないだ。(件)

支所名	開設日数	相談件数 (延べ)	心配ごと 相談員 (延べ)	相 談 内 容 内 訳			
				生 計	1	人権・法律	2
城端	6日	8件	5名	年 金	1	財 産	13
平	2日	1件	2名	職業・生業	1	事 故	0
上平	2日	0件	2名	住 宅	2	児 童 福 祉	0
利賀	2日	0件	2名	家 族	9	教 育 ・ 青 少 年	0
井波	12日	8件	12名	結 婚	0	障 が い 者 福 祉	1
井口	2日	0件	2名	離 婚	1	母 子 父 子 福 祉	0
福野	5日	4件	4名	健康・衛生	0	高 齢 者 福 祉	4
福光	11日	15件	11名	医 療	0	苦 情	1
計	42日	36件	40名	精神衛生	2	そ の 他	7
						計	45

※44回の開催を予定していたがコロナウイルス感染防止のため3月の開催(2回)を中止とした。

【法律相談】

相続や、家族関係、金銭問題、賠償問題など法律に関する相談に応じた。

開 催 月1回(年12回) 相談件数 40件

相談員 富山県弁護士会 弁護士

9 障害者社会参加事業

(1) 障害者社会参加支援事業

在宅障がい者の閉じこもり予防と社会生活力の向上を目的に、参加者が主体的に取り組む事業や、土日の居場所づくりとして障がい者も参加できる「ふらっとカフェ」を開催した。

【なんと☆きらりたいむ】

開催日	8月25日
会 場	2会場 (①ショッピング ア・ミュウ、②らくらグリーンモール福光)
参加者	39名
内 容	チャリティー募金活動と交流会

※3月6日にマナーアップ講座を予定していたがコロナウイルス感染防止のため中止とした。

【ふらっとカフェ】

開催日	2回 (①7月13日、②12月7日)
会 場	会場 (①旅川福祉交流館、さつき荘、②旅川福祉交流館、さつき荘)
参加者	55名 (①37名、②18名)
内 容	①流しそうめん(買い物、調理、交流会) ②クリスマス会(調理、交流会)
成 果	在宅障がい者が主体的に外出や調理などの活動に取り組んだ。また、土日の居場所づくりを当事者やボランティアの意見も踏まえ開催できた。

(2) 障害者理解促進研修・啓発事業

地域住民の障がい者理解と、障がい者を支援する人材育成を目的に、「障がい者寄り添い講座」を開催した。

開催日	1月15日
会場	福野体育館
参加者	84名
内容	地域住民を対象に、精神障害や知的障害、発達障害等についての講演を通して、地域共生社会の実現に向けてこれからの地域づくりについて考えた。 また、ドリンクサービス事業にて協力を得ている5事業所にも参加してもらい、それぞれの自主製作品の展示販売や、ドリンクサービスの提供を行なった。 講演①「障がい者も共に暮らすあたたかな地域づくり」 ピアサポートあい 所長 中盛 京子 氏 講演②「障害について知ろう」（手話ソング、寸劇、作文朗読） 手をつなぐとなみ野 職員グループ「ぱすてる」
成果	病気やケガで誰でも障がい者になる可能性があることや障がいの特徴などを聞き知識を深めることができた。また参加者も一緒に手話を交えて歌を歌ったり、障がい者への偏見についての作文を聞いたりしてこれまでの自身の意識を振り返る良い機会となった。 実際に展示販売やドリンクサービスで障がい者の方とふれあい、より障がい者への理解が深まった。

10 福祉入門事業

(1) 手話奉仕員養成講習会〔基礎編〕の開催

※南砺市井波総合文化センター（代表企業(株)ホクタテ高岡支社）へ業務委託

開催日	5月24日～12月6日（毎週金曜日 全25回）
会場	井波総合文化センター 2階
参加者	13名
内容	手話によるコミュニケーションを学ぶことを通して、聴覚障がい者への理解や日常生活での活用を目的に開催した。
成果	入門編と基礎編の2年1セットとしており、本年度は2年目の基礎編を実施した。 昨年入門編を終了された方12名と他市で経験のある1名が参加。 講義3“ボランティア活動”でのワークでは、聴覚障がい者の困りごとを知り、自分にできる事、誰かと一緒ならできる事をグループで話しあった。 修了者は11名。終了後、手話サークルへの入会者2名。

11 地区社協助成事業

(1) 地区福祉活動助成

地区福祉活動の推進のため、市内31地区へ総額4,260,000円を助成した。

(2) 地区社協への市補助金

地域づくり協議会に移行していない3地区社協への市補助金150,000円を交付した。

1 2 ボランティア助成事業

(1) ボランティア活動団体へ助成

ボランティア活動助成金として21団体へ総額278,000円を助成した。

(2) 市ボランティア連絡協議会へ助成

ボランティア活動助成金として500,000円を助成した。

1 3 各団体助成事業

(1) 各種団体活動へ助成

南砺市遺族会	738,000円	
南砺市遺族会福光支部	140,000円	
井波招魂社奉賛会	151,000円	
南砺市老人クラブ連合会	186,000円	(総額1,215,000円)

1 4 外出支援サービス事業

(1) 外出支援サービスの実施

要介護3以下の車椅子が必要な方を対象に、福祉車両による医療機関への送迎を支援した。
3事業所で福祉車両3台を維持管理した。

・運行実績

事業所	担当地域	利用実人数	運転V登録者数	利用回数(片道単位)	稼働延べ日数	所有台数
城端支所	平・上平・城端・井口	5名	7名	38回	21日	1台
福野支所	利賀・福野・井波	8名	8名	107回	49日	1台
福光支所	福光	0名	2名	0回	1日	1台
合計		13名	17名	145回	71日	3台

(2) 運転ボランティアの養成、育成

安心・安全なサービス運行のために、運転ボランティア対象の講習会や交流会を開催した。

・福祉有償運送認定講習会

開催日	6月7日
会場	砺波市社会福祉会館
参加者	運転ボランティア 1名 職員 1名
内容	国土交通省認定福祉有償運送運転者講習会 講師：北陸移動サービスネットワーク 代表 須戸 哲氏

・運転ボランティア実技講習会

開催日	同じ講習を2回開催 (8月1日、8月2日)
会場	南砺自動車学校
参加者	運転ボランティア 15名
内容	・運転適性検査と指導 認知機能検査 ・運転技能講習 (車いす搬送福祉車両の取り扱い方法、実技体験走行)
成果	認知機能検査を体験して、安全運転を続けることへの意識づけになった。 実技体験走行では利用者の体験をして、利用者には負担を掛けない安全な運転を確認した。

・運転ボランティア交流会

開催日	1月22日
会場	ぬく森の郷
参加者	運転ボランティア 7名
内容	運動体験「背筋をのぼし、体の歪みを正そう」 講師：カイロプラクター 菅野 幸子 氏 送迎サービスの状況報告および意見交換 昼食・歓談

15 高齢者交流サロン事業

(1) 高齢者交流サロン事業の実施

【ふれあいいきいきサロン、らくらくサロンへの助成】

地域の身近な場所で、参加者相互の交流により介護予防と健康増進を図り、健康でいきいきとした日常生活を送ることを目的に実施している市内133サロン団体に対し活動費を助成し、継続的な運営の支援を行った。

地域	団体数	回数	参加者数	助成金額
城端	21団体	168回	2,672名	641,000円
平	1団体	6回	49名	18,000円
利賀	1団体	9回	94名	27,000円
井波	37団体	431回	8,700名	2,024,000円
井口	4団体	25回	273名	60,000円
福野	34団体	446回	6,447名	1,882,417円
福光	27団体	509回	6,821名	2,130,410円
らくらく	8団体	232回	2,723名	140,000円
計	133団体	1,826回	27,779名	6,922,827円

※コロナウイルスの感染防止のため3月のサロン開催を自粛した団体が多く助成金の返納が多くみられた。

【サロン事業助成説明会】

令和2年度、3年度の助成内容について、市と合同で説明会を開催した。

開催日	1月29日
会場	地域包括ケアセンター
参加者	サロン助成団体、新規サロン検討団体 157名
内容	令和2年度の助成内容について（市社協） 令和3年度からの助成内容について（市地域包括ケア課） 週1運動サロンの推進について（市地域包括支援センター）
成果	今後のサロン活動や助成の方向性や、「だれでもサロン」助成について周知し 激変緩和を図った。また、助成を通じてサロン団体への相談支援を行った。

【サロン機材の整備と貸出し】

サロン助成金説明会、サロン出前講座等で貸出機材の紹介・周知を図った。

16 高齢者福祉施設交流事業

(1) 【終】高齢者福祉施設交流事業の開催

参加者同士の交流を図るとともに健康保持と介護予防に努め、いきいきとした日常を送ることを目的に市内8地域にて、地域にある施設等を利用して高齢者が気軽に参加できるサロンを開催した。

地域	サロンの名称	回数	参加者数	開催場所	備考（開催日）
城端	にこにこ会	22回	498名	老人福祉センター美山荘	毎月第2・4火曜日
平	かがやきサロン	11回	179名	ゆ〜楽健康センター	
上平	さくらサロン	11回	47名	くろば温泉	
利賀	ポカポカサロン	10回	111名	天竺温泉・公民館	
井波	やすらぎの家サロン	11回	291名	井波社会福祉センター	毎月第2金曜日
井口	ほほえみの会	11回	228名	井口社会福祉センター	毎月第3水曜日
福野	さつき荘ふれあいの日	16回	275名	老人福祉センターさつき荘	
福光	ベルサロン	10回	225名	福光会館（旧ベル）	毎月第2木曜日
計		102回	1,854名		

17 高齢者生きがい対策事業

(1) スポーツ教室等委託事業

高齢者がスポーツを通して健康でいきいきとした生活を送れることを目的とし、各地域でスポーツ教室を開催する団体に業務委託を行った。

地域	事業名	主な内容	活動回数	参加人数(延べ)
城端	ターゲットボードゴルフ	教室、ルール講習会、月例練習会の開催	67回	547名
利賀	ゲートボール	練習会の開催、大会への参加、練習場整備	116回	831名
井波	マレットゴルフ	定例練習会、講習会、交流大会の開催	17回	448名
	カラオケ教室	練習会	24回	148名
井口	ペタンク	練習会の開催	68回	678名
福野	ゲートボール	教室、講習会の開催、協議会への参加	33回	1,851名
福光	ゲートボール	練習会、講習会の開催、大会の準備、参加	64回	2,400名
	ペタンク	練習会、研修会の開催、大会の準備、参加	19回	88名
	パークゴルフ	練習会、講習会の開催、大会の準備、参加	106回	927名

(2) 【終】農園活動の実施

高齢者が農園づくりを通して、健康の増進や、生きがいを見出すことを目的に実施した。

地域	事業名	活動場所	活動回数	利用者数
井波	老人農園事業	山見地区内 40区画(1区画約10坪) 1,711㎡	年間	17名
福光	シルバー農園事業	福光・吉江地区内 7名の所有者から 貸借土地面積7,542㎡(全10筆)	年間	70名

18 高齢者相談対策事業

(1) 生活支援コーディネーター活動事業の受託（地域包括ケア課より）

- ・第2層生活支援コーディネーター5名を市社協職員が兼務した。
- ・第2層協議体として5つの日常生活圏域それぞれの連絡会（地区福祉活動連絡会）を開催し関係者のネットワークを図った。また、現在取り組んでいる活動と今後必要とされている活動について意見を出し合い、課題への認識も共有した。
- ・地域づくり協議会が始まった年度であり、課題対策を検討している地区が多い。各地区の取組状況をまとめた。

地区福祉活動連絡会

第2層協議体	実施日	場 所	参加人数
城端地域	11月14日	城端老人福祉センター	13名
五箇山地域	10月21日	平若者センター	18名
井波・井口地域	10月17日	井波社会福祉センター	11名
福野地域	11月8日	福野老人福祉センター	9名
福光地域	11月6日	吉江交流センター	19名

(2) 高齢者の総合相談窓口業務、実態把握事業の受託（地域包括ケア課より）

関係機関との情報共有を図るため、高齢者に関する相談を受けたケースについて包括システムに入力し報告した。また、市地域包括支援センターの依頼により、高齢者の自宅へ訪問し、実態把握調査を実施した。

- ・高齢者の相談件数 256件
- ・高齢者実態把握件数 4件

19 ボランティアセンター運営事業

(1) ボランティアセンターの運営、センターの基盤強化

① ボランティアセンター運営委員会

開催日	2回 (①5月27日、②2月19日)
会場	本所 2階 講義室
参加者	25名 (①12名、②13名)
内容	1回目 令和元年度事業計画、ボランティア活動助成金審査 2回目 令和元年度事業報告、令和2年度事業計画(案)、ボランティア活動助成要綱の変更
成果	委員より貴重な意見を聞くことができ、また各団体での取り組みなどを情報共有することもできた。委員の発案により啓発グッズを施設と連携して作成した。

② ボランティア相談支援業務

- ・ ボランティア団体など活動者への相談受付、対応 延べ327件
- ・ 新規ボランティア希望者やボランティア募集希望の受付、対応 29件

③ ボランティア登録業務

ボランティアコーディネート業務等を円滑に行うため登録管理システムを更新し、個人・団体登録カードの更新手続きを行った。

	H29年度	H30年度	R1年度
団体登録数(団体)	181	179	160
団体登録人数(人)	4,586	4,626	4,510
個人登録人数(人)	17	25	13
登録人数合計(人)	4,603	4,651	4,523

④ ボランティア活動保険加入普及業務

- ・ 加入件数 3,005名

⑤ ボランティア情報発信業務

- ・ 広報紙「なんとこの福祉」 毎月
- ・ ホームページ、ブログ掲載件数 11件

⑥ 収集ボランティア活動の普及推進

- ・ 市社協窓口で受け付けたペットボトルキャップをおいものサラダ@かがやきが回収・仕分けし、㈱タカオカ化成へ持ち込み、換金され日本赤十字社へ寄附。
実績 2,206kg⇒22,060円
- ・ 使用済み切手、書き損じはがきの収集

(2) 福祉教育の推進、ボランティア活動参加の促進

- ・ 「福祉教育・ボランティア学習会」の開催(砺波市・小矢部市・南砺市3市合同)

開催日	6月20日
会場	庄川生涯学習センター 多目的ホール
参加者	3市内の小中学校、高等学校及び総合支援学校の担当者 30名 (うち南砺市13名)
内容	学校と地域で取り組む福祉教育・ボランティア学習について、社会福祉協議会と連携して取り組んだ活動について学校の教職員やボランティア団体が発表した。福祉教育プログラムを各グループで企画し、発表し合った。
成果	各校の福祉教育やボランティア活動について情報交換し、具体的な事例を通して今後の福祉教育のあり方や進め方について理解を深めることができた。

・学校等での福祉の授業やゲストティーチャー派遣

ボランティア、市社協職員の派遣・調整	小学校 3件 中学校 2件
--------------------	---------------

・【強】福祉教育地域指定推進事業 親子でふくし・ボランティア活動体験教室

開催日	①8月3日 ②8月22日
会場	①南砺市福野体育館 ②デイサービスセンターいなみ
参加者	①小学生と保護者12名 ②2名
内容	①障がい当事者のお話し、車いすツインバスケットボール体験 講師 車いすツインバスケットボールクラブ Toyama Super Guts ②デイサービス利用者とおやつ作り
成果	車いすツインバスケットボール体験を通じて、障がい当事者と一緒にスポーツを楽しみながら、多様性を認め合うことの大切さを学ぶきっかけづくりとなった。また、身近なところにも福祉やボランティア活動があり、体験することで興味感心を持つ機会となった。

(3) ボランティア啓発グッズの作成

なんとハートのイラスト入りバッグを作成し、福祉大会やボランティア体験事業等にて配布し、ボランティアの啓発を行った。

・ハートイラスト入りバッグ作成…500個

(4) 災害救援ボランティア活動の強化

災害救援ボランティアセンター立上げ訓練

開催日	9月11日
会場	井口社会福祉センター 大ホール
参加者	災ボラセンター駆けつけ隊 7名、役職員 29名
内容	講義「災害救援ボランティアセンターの役割」 県社協 模擬訓練
成果	訓練を通してセンター立上げの流れを再確認し、災害時のセンターでの対応について共有した。

(5) ボランティア受入れ施設との連携強化

・「3市合同施設ボランティア受入担当者研修会」の開催（砺波市・小矢部市・南砺市3市合同）

開催日	11月22日
会場	小矢部市総合保健福祉センター
参加者	3市内の施設ボランティア受け入れ担当者 22名（うち南砺市5名）
内容	グループワークによる事例検討（3事例）を通して、ボランティア受入れに対する悩みや解決方法を話し合うと共に、情報交換を行った。 また、ボランティア活動依頼方法についても周知した。
成果	各施設でのボランティアの受入れについて同様の悩みを共有したり、情報交換を行うことができ、有意義な機会となった。

20 ボランティアコーディネーター設置事業

(1) ボランティアコーディネーターの設置

ボランティアコーディネーターとして職員4名の人件費。

2 1 児童生徒のボランティア活動普及推進事業

(1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業

市内推進校21校へ「児童・生徒のボランティア活動普及事業」の実施

- ・市内の小学校、中学校、高等学校及び総合支援学校の21校を推進校とし、体験学習等の事業費の助成を行った。

2 2 地域福祉サポーター活動事業

(1) 【終】地域福祉サポーターの設置

地区社会福祉協議会長からの推薦者を、市社会福祉協議会長が「地域福祉サポーター」に委嘱。地区社協を拠点として、市社協との連携を図りながら活動した。

- ・地域福祉サポーター 59名委嘱（任期2年目）

・活動実績

ボランティア活動希望者相談件数	18件
ボランティア活動の場の発掘	24件
福祉ニーズの把握	71件
ボランティア登録数	4件
ボランティアセンター事業の協力	329件
その他	704件

※地域づくり協議会発足により、福祉部会や福祉活動リーダーが設置され、地域福祉サポーターと同じ役割を担う体制が整備されたため今年度をもって委嘱を終了。

2 3 共同募金一般募金配分事業

(1) 【終】高齢者ふれあい訪問事業

75歳以上の一人暮らし高齢者および高齢者のみ世帯を対象に、ボランティアや食生活改善推進員、民生委員等が協力して手作りおはぎや饅頭等を届け、見守り声かけ訪問を行った。

実績 2,078名（H30年度 2,506名 / H29年度 2,077名）

(2) ドリンクサービス事業の実施

地域で行われるサロンや関係団体の会議において、市内の障がい者施設利用者と協力してコーヒーやお茶を出す機会を提供し、障がい者の社会参加の促進を図るとともに、地域住民への障がい者理解を深めた。

開催回数 15回/年

協力者数 延べ84名/年

(3) 社会福祉大会の開催

10月6日 南砺市井波総合文化センターにて開催

- ・大会式典、表彰式

南砺市社会福祉協議会会長表彰 64名、3団体

- ・参加団体（展示・販売） 11団体

(4) ボランティア啓発グッズの作成

19 ボランティアセンター運営事業へ助成

(5) 広報紙の発行

広報紙「なんとの福祉」第171号（4月25日発行）～181号（3月25日発行）の発行

(6) 外出支援サービス事業へ助成

14 外出支援サービス事業へ助成

(7) 【終】公募事業の実施

市民が参画する地域づくり事業を公募し、18団体へ総額1,391,680円を助成した。

社会福
分が抜
ように
・法人

24 歳末たすけあい配分事業

(1) 【終】歳末たすけあい友愛訪問事業の実施

歳末時期に地域づくり協議会等と協力し、支援を必要とする方1,071名への声かけ訪問と商品券の贈呈を行った。

(2) 【終】歳末生活支援金支給事業の実施

在宅で支援を必要としている低所得世帯52世帯79名へ生活支援金を支給した。

25 生活困窮者自立支援事業

(1) 生活困窮者自立支援

①生活困窮に関する相談対応、関係機関との連携支援

- ・相談対応件数 23件

②家計改善支援事業

南砺市からの受託事業

家計改善を必要としている要支援者に対し、家計再生に向けた課題の評価、分析、状況に応じた支援計画を作成し、自立を支援した。

- ・家計に関する相談件数 7件
- ・プランの作成 4件

(2) 職員1名（相談支援員として市への派遣）

26 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業

富山県社協からの受託事業

高齢や障がい等により福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理を自分ひとりの判断で行うことに不安のある方に対して、生活支援員や専門員が定期的に訪問し日常生活上の様々な手続きや金銭管理等の支援を行った。

- ・利用契約件数 (件)

	H29年度末	H30年度末	R1年度末	R1年度 各件数				
				新規	解約			
					本人希望	後見人等	死去	転出
認知症高齢者等	10	16	23	10		1	2	
知的障がい者	25	26	26	2	1		1	
精神障がい者	14	10	12	2				
その他	9	7	5			1	1	
合計	58	59	66	14	1	2	4	0

後見人等…後見人、親族への移行

- ・生活支援員登録・活動状況 (名)

	H29年度末	H30年度末	R1年度末
登録数	49	52	56
活動者数	39	38	47

- ・相談・訪問件数 (件)

	H29	H30	R1
日常生活自立支援事業に関するもの	3,456	2,792	2,583
成年後見制度に関するもの	18	14	5
合計	3,474	2,806	2,588

(内、新規相談19件)

(2) 職員の事例検討会の開催

・職員の事例検討会の開催

月1回、福祉サービス係の担当ケースについて、情報共有や事業間連携を図るために開催。また、困難ケースに関しては事例検討を行い、よりよい支援方法を検討するとともに職員の資質向上を図った。

(3) 南砺市生活支援員登録者研修会の開催

市内在住の生活支援員登録者を対象に、利用者理解及び対人援助技術の向上、生活支援員相互の情報交換・交流を図ることを目的として開催。

開催日	1月16日
会場	南砺市地域包括ケアセンター 2階 多目的研修室
参加者	25名
講師	富山福祉短期大学 教授 鷹西 恒 氏
内容	支援を行う上での支援員の役割や心構え、障がいや認知症がある方との関わり方、声かけの仕方を講義で学び、支援活動の振り返りを行った。
成果	講義では講師の体験を交え具体的な事例を出しながらの話であったため支援活動にすぐに活かせ、今後の支援の方法について振り返る良い機会となった。 情報交換では支援員が活動を行う上での悩みや経験談などを共有することにより、自身の活動に活かしていきたいとの声が聞かれた。

(4) 職員3名（専門員）の人件費

27 生活福祉資金貸付事務事業

(1) 県社協生活福祉資金の貸付事務

富山県社協からの受託事業

①生活福祉資金貸付事業

・利用契約件数

(件)

資金名	H29年度末	H30年度末	R1年度末	R1年度 各件数			
				新規貸付	転入	償還完了	ケース移管
総合支援資金	生活支援費	4	3	3			
	住宅入居費	2	2	2			
	一時生活再建費	2	2	2			
福祉資金	0	0	0				
教育支援資金	9	8	8				
緊急小口資金	5	5	5				
合計	22	20	20				

②臨時特例つなぎ資金貸付事業 貸付実績 0件

③資金貸付相談（新規相談 8件）

資金の貸付までには至らなかったが、必要に応じて生活困窮者自立支援事業や日常生活自立支援事業、生活困窮者支援給付モデル事業等への支援につなげた。

④償還指導・督促

(延件数)

3か月ごとに、借受人及び連帯借受人・連帯保証人に対して、督促状を送付した。 26件
生活状況の確認や償還を促すため、定期的に電話連絡を行った。 61件

28 小口資金貸付事業

(1) 市社協生活支援資金

①生活支援資金の償還状況

・利用契約件数

(件)

資金名	H29年度末	H30年度末	R1年度末	R1年度 各件数	
				償還完了	償還免除
生活支援資金	6	3	2	1	
合 計	6	3	2	1	0

②償還指導・督促

(延件数)

6か月以上償還のない借受人に対して、督促状を送付した。

6件

借受け人、連帯保証人に対して、状況確認書・償還計画変更届を送付した。

6件

生活状況の確認や償還を促すため、定期的に電話連絡や訪問等を行った。

19件

(2) 【新】生活困窮者支援給付モデル事業

生活に困窮している世帯を対象に、安定した生活を送れるよう状況に応じて必要な金品を給付し、相談支援を行った。また、関係機関と連携を図りながら、継続的な自立支援につなげた。

①給付に関する相談件数 12 件

②給付を行った件数 6 件

3 福祉センター等運営部門

29 城端老人福祉センター運営事業

市指定管理者制度により、城端老人福祉センター「美山荘」の運営管理

指定管理期間：平成30年4月1日～令和3年3月31日（2/3年目）

集会場、趣味の場として運営管理した。

①開館日数 343日 利用者数 8,558人（南砺市寿入浴助成券利用者741人を含む）

※台風19号接近による強風のため、10月12日午後2時より閉館時間まで休館

②利用促進のための取組み

- ・休湯日の部屋利用の実施。（H28年度～）
- ・主催事業として健康マージャン及びカラオケの会の開催による利用促進。
- ・南砺市寿入浴助成券の使用。
- ・利用者が気持ちよく過ごされるよう館内飾り付けや良い雰囲気づくりに努めた。

③主な修繕（10万円以上）

- ・濾過機モーター取替修繕 231,000円

④固定資産取得支出（10万円以上） なし

⑤更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満）

- ・除湿器 22,000円

⑥利用状況

（単位：人、円）

区 分		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
開館日数（日）		238	344	349	346	343		
入 館	老人等	人数	10,959	11,512	9,832	9,738	8,408	
		金額	2,400,480	2,491,970	2,164,810	2,174,420	1,770,940	
	中学生以上	人数	160	176	167	187	149	
		金額	48,000	52,800	50,100	56,100	44,700	
	小学生	人数	5	2	3	2	1	
		金額	500	200	300	200	100	
	計	人数	11,124	11,690	10,002	9,927	8,558	
		金額	2,448,980	2,544,970	2,215,210	2,230,720	1,815,740	
参考	減免	人数		123	61	16	0	
		金額		18,450	9,150	2,400	0	
部屋利用	※人数は入館数の内数	人数	4,871	4,986	4,380	4,574	3,613	
		金額	389,680	398,880	350,400	365,920	288,880	
	参考	減免	人数					
			金額					
総合計		人数	11,124	11,690	10,002	9,927	8,558	
		金額	2,838,660	2,943,850	2,565,610	2,596,640	2,104,620	
1日平均利用者数（人）		46.7	34.0	28.7	28.7	25.0		

H28～市寿入浴助成券取扱開始

⑦人件費 職員1名分

⑧職員研修体制

11月15日 危険物取扱者保安講習 1名参加

30 福野老人福祉センター運営事業

福野老人福祉センター「さつき荘」の運営管理

入浴ができる「憩い」「趣味」「交流」の場及び集会の場を提供する施設として運営

①開館日数 331日 利用者数 5,512人（南砺市寿入浴助成券利用者289人を含む）

※台風19号接近による強風のため、10月12日正午より閉館時間まで休館

②利用促進のための取組み

- ・休湯日の部屋利用の実施。（H30年度～）
- ・南砺市主催や市内各福祉団体等の利用料金の減免を行い利用促進を図った。
- ・ハートフル福祉募金自販機を設置し利用者の利便向上と併せて共同募金の推進を図った。

③主な修繕（10万円以上） なし

④固定資産取得支出（10万円以上） なし

⑤更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満） なし

⑥利用状況

（単位：人、円）

区 分		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
開館日数（日）		252	253	251	334	331	
入 館	300円 ・60歳以上 ・障害者	人数	7,072	6,869	6,938	6,276	5,309
		(内、寿券)		(118)	(277)	(356)	(289)
		金額	2,121,600	2,060,700	2,081,400	1,882,800	1,592,700
	400円 ・60歳未満	人数	45	25	40	39	46
		金額	18,000	10,000	16,000	15,600	18,400
	減 免	人数	77	67	98	97	157
		金額	11,550	10,050	14,700	14,550	23,800
	カラオケ	金額	86,100	83,600	71,900	74,100	73,600
	小 計	人数	7,194	6,961	7,076	6,412	5,512
		金額	2,237,250	2,164,350	2,184,000	1,987,050	1,708,500
自販機手数料等	金額	6,190	2,220	2,610	18,166	38,877	
合計	金額	2,243,440	2,166,570	2,186,610	2,005,216	1,747,377	
1日平均利用者数（人）		28.5	27.5	28.2	19.2	16.7	

H28～市寿入浴助成券取扱開始

自販機H30.9～

⑦人件費 職員1名分

3 1 福光老人福祉センター運営事業

福光老人福祉センター「福光温泉」の運営管理

高齢者に憩い・寛ぎを与え、なごめる温泉施設として運営

経営管理は、平成26年度まで民間業者に業務委託、平成27年5月から直営

①開館日数 310日 利用者数 24,523人（南砺市寿入浴助成券利用者3,308人を含む）

※台風19号接近による強風のため、10月12日午後2時より閉館時間まで休館

②利用促進のための取組み

- ・施設の一部を食堂営業や、福光麻布の展示場などに貸付している。
- ・【新】9月よりすべての開館日の食堂営業を実施した。
- ・南砺市寿入浴助成券、市観光協会「なんと湯めぐりパス」企画やショッピングセンター「アルビス」ポイント利用などに参画した。
- ・スポーツクラブ会員や福祉関係団体の割引の継続、お得な回数券販売を実施した。

③主な修繕（10万円以上）

・合併浄化槽源泉ポンプ修繕	167,400円	・浴室非常照明修繕	378,000円
・男子浴室照明配線修繕	148,390円	・自動ドア修繕	275,000円
・非常灯バッテリー交換	207,900円	・男子浴室照明更新	330,000円

④固定資産取得支出（10万円以上）

・器具備品取得	製氷機	205,370円
---------	-----	----------

⑤更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満） なし

⑥利用状況

（単位：円、人）

区 分		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
開館日数(日)		286	306	306	304	310
収入	一般入浴	4,235,400	4,510,350	4,503,750	4,520,000	5,181,550
	寿券入浴	1,593,000	1,733,500	1,713,500	1,758,500	1,654,000
	回数券	2,560,000	3,487,500	3,120,000	3,480,000	4,385,000
	休憩料	119,500	164,000	224,325	214,225	197,000
	利用料 計	8,507,900	9,895,350	9,561,575	9,972,725	11,417,550
	フロント販売、自販機	910,998	1,149,430	1,309,470	978,680	850,180
	食堂、展示場賃貸料他	60,310	118,770	279,060	171,720	162,806
	販売等 計	971,308	1,268,200	1,588,530	1,150,400	1,012,986
	負担金収入	62,628	91,335	100,381	113,461	96,741
	事業収入 合計	9,541,836	11,254,885	11,250,486	11,236,586	12,525,777
利用者	一般入浴	8,849	9,379	9,441	9,441	10,810
	寿券入浴	3,186	3,467	3,427	3,517	3,308
	回数券	5,587	8,181	7,354	8,154	10,405
	入浴者数 計	17,622	21,027	20,222	21,112	24,523
	大広間・個室休憩者	322	483	691	772	640
1日平均利用者数(人)		61.6	68.7	66.1	69.4	79.1

⑦人件費 職員9名分

3 2 井波社会福祉センター運営事業

各種団体の集会場・趣味の場として、会館を管理運営した。

①開館日数 325日 利用者数 16,040人

②利用促進のための取組み

- ・気軽な交流の場として1室を月2回無料開放した。
- ・冷暖房機器を改善し、良好な施設環境に努めた。
- ・1階ロビーに井波図書館蔵書を提供し、館内で読むスペースを設けた。

③主な修繕（10万円以上）

- ・ボイラー温風漏れ修理 176,000円

④固定資産取得支出（10万円以上） なし

⑤更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満） なし

⑥利用実績

（単位：件、人、円）

部 屋 名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
開館日数（日）		331	332	332	330	325
1F 談話室	件数	192	191	184	186	150
	人数	1,376	1,327	1,266	1,237	997
	金額	113,380	98,020	96,660	96,920	65,880
1F 相談室	件数	73	64	62	58	47
	人数	353	334	386	340	359
	金額	53,120	46,580	53,860	52,960	38,300
1F 娯楽室	件数	247	260	221	262	248
	人数	3,461	3,842	3,369	3,491	2,549
	金額	297,605	323,190	275,160	323,325	301,325
2F 研修室	件数	198	190	200	203	135
	人数	5,533	5,242	5,712	5,467	4,074
	金額	310,500	305,400	341,500	344,910	245,450
2F 児童文化室	件数	245	237	217	213	263
	人数	3,591	3,326	3,138	2,905	3,326
	金額	372,885	352,305	312,440	310,290	354,340
2F ボランティア室	件数	102	82	69	78	86
	人数	415	374	332	388	582
	金額	0	0	0	0	0
3F 会議室	件数	130	114	97	103	96
	人数	928	897	823	704	615
	金額	109,200	99,825	74,775	82,050	67,350
3F 大ホール	件数	138	265	115	133	130
	人数	4,187	6,090	3,686	4,188	3,538
	金額	269,345	501,745	247,170	281,690	227,175
合 計	件数	1,325	1,403	1,096	1,236	1,155
	人数	19,844	21,432	18,380	18,720	16,040
	金額	1,526,035	1,727,065	1,401,565	1,492,145	1,299,820
1日平均利用者数（人）		60.0	64.6	55.4	56.7	49.4

⑦人件費 職員1名分

3 3 井口社会福祉センター運営事業

各種団体の集会場・趣味の場として、会館を管理運営した。

①開館日数 258日 利用者数 14,619人

②利用促進のための取組み

- ・老人クラブ会員への広報等で新規使用者の増加を図った。
- ・快適な環境及び安全な設備を提供した。

③主な修繕（10万円以上）

- ・児童室壁補修工事 109,560円

④固定資産取得支出（10万円以上） なし

⑤更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満）

- ・湯沸し器 30,000円
- ・ブルーヒーター（2台） 98,500円

⑥利用状況

（単位：人、円）

部屋名		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
開館日数（日）		269	273	266	283	258
集会室	人数	1,910	1,380	1,656	1,244	1,141
	金額	48,480	34,512	64,230	33,990	37,050
談話室	人数	2,206	1,808	1,843	1,629	1,610
	金額	67,280	74,488	85,060	78,880	90,800
面接休養室	人数	796	432	442	585	242
	金額	34,740	16,288	15,680	27,620	13,400
サロン室	人数	1,147	1,166	1,499	1,730	1,037
	金額	48,620	51,300	69,660	116,400	67,590
ボランティア室	人数	1,067	777	1,044	786	669
	金額	22,260	22,110	29,520	26,520	24,630
調理室	人数	167	260	222	183	210
	金額	10,560	10,800	12,270	12,780	10,950
大ホール	人数	4,792	4,742	4,710	5,538	4,627
	金額	56,320	54,480	49,800	57,760	40,440
小ホール	人数	583	798	602	772	708
	金額	8,730	9,390	3,840	7,200	10,350
ワークルーム室	人数	12	28	16	129	12
	金額	960	960	1,440	12,200	1,300
会議室	人数	586	592	472	579	568
	金額	59,840	64,640	68,660	86,780	71,840
児童室	人数	3,761	3,492	3,728	4,157	3,795
	金額	800	1,600	2,100	2,100	800
知的障害者室	人数	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
合計	人数	17,027	15,475	16,234	17,332	14,619
	金額	358,590	340,568	402,260	462,230	369,150
1日平均利用者数（人）		63.3	56.7	61.0	61.2	56.7

⑦職員研修体制

6月12日～13日 防火・防災管理併催新規講習 1名参加

34 すぱーく福野運営事業

高齢者の生きがいがづくり及び健康増進のため、屋内ゲートボール場を運営している。
 なお、管理は福野ゲートボール協会に委託している。

①開館日数 360日 利用者数 5,006人

②利用促進のための取組み

- ・屋内型施設として、年中を通しての練習、講習会や大会などの開催による利用促進を図った。
- ・障害者のコート利用料の減免などを行い利用促進を図った。
- ・【新】12月よりハートフル福祉募金自販機を設置し利用者の利便向上と併せて共同募金の推進を図った。

③主な修繕（10万円以上） なし

④固定資産取得支出（10万円以上） なし

⑤更新及び取得した主な設備、備品（10万円未満） なし

⑥利用状況

（単位：人、円）

利用区分		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
開館日数（日）		360	360	360	360	360	
利 用	100円利用者	人数	3,539	3,274	3,648	4,346	5,006
		金額	353,900	327,400	364,800	434,600	500,600
	150円利用者 (18:00～)	人数	0	1	3	4	0
		金額	0	150	450	600	0
	コート利用	コート数	4	11	19	17	18
		金額	8,000	35,000	27,050	17,950	18,000
	ゲートボール協会 年間利用料		100,000	80,000	80,000	80,000	70,000
利用者	人数	3,539	3,275	3,651	4,350	5,006	
小 計	金額	461,900	442,550	472,300	533,150	588,600	
自販機手数料等	金額	0	170	0	0	2,635	
合 計	金額	461,900	442,720	472,300	533,150	591,235	
1日平均利用者数（人）		9.8	9.1	10.1	12.1	13.9	

自販機R1.12～

4 介護保険等サービス部門

35 ホームヘルプ事業

市指定管理者制度により、五箇山ホームヘルプステーションの運営管理

事業所名 : 南砺市五箇山ホームヘルプステーション（平出張所、上平出張所含む）

事業所種類 : 訪問介護事業

介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業

指定管理期間 : 平成29年4月1日～令和6年3月31日（3/7年目）

① 開所日数 256日（土曜営業あり）

※大型連休中に特別営業を実施（1日）

② 主な修繕（10万円以上）

・車両自損事故修理 271,977円 ※保険にて対応

③ 固定資産取得支出（10万円以上）

なし

④ 更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満）

なし

⑤ 利用状況

	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
開所日数	日	244	251	254	253	256
延利用人数	人	2,652	2,115	2,287	2,321	2,214
延利用平均人数/日		10.9	8.4	9.0	9.2	8.6
平均実利用者数/月		19	18	27	26	25
平均介護度		1.7	1.5	1.7	1.6	1.5
介護事業収入	円	7,898,586	7,309,775	8,809,137	9,064,947	8,528,710

⑥ 人件費

職員3名分

36 デイサービスセンター運営事業

市指定管理者制度により、デイサービスセンターの運営管理

事業所名 : 南砺市平デイサービスセンター

南砺市上平デイサービスセンター

南砺市利賀デイサービスセンター

事業所種類 : 地域密着型通所介護事業

介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業

指定管理期間 : 平成29年4月1日～令和6年3月31日（3/7年目）

① 開所日数 243日

※大型連休中に特別営業を実施（各施設3日）

② 主な修繕（10万円以上）

上平 ・温泉ミキシング配管漏水修繕 167,658円

・冷暖房KHPガス漏れ修繕 209,836円

・空調機冷却部位他修繕 303,710円

利賀 ・車庫シャッター等修繕 113,400円

・滅菌（塩素薬液）タンク取替修繕 135,000円

③ 固定資産取得支出（10万円以上）

なし

④ 更新及び取得した主な設備・備品（10万円未満）

なし

⑤ 利用状況

平

	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
定員	人	20	18	18	18	18
開所日数	日	243	243	244	244	243
延利用人数	人	3,441	3,264	3,377	3,045	3,107
利用平均人数/日		14.2	13.4	13.8	12.5	12.8
平均実利用者数/月		37	40	37	32	30
平均介護度		1.4	1.6	1.4	1.4	1.7
介護事業収入	円	26,665,060	24,835,197	26,798,956	24,692,389	27,230,892

上平

	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
定員	人	20	18	18	18	18
開所日数	日	243	243	244	244	243
延利用人数	人	2,583	2,463	2,258	1,988	2,209
利用平均人数/日		10.6	10.1	9.3	8.1	9.1
平均実利用者数/月		31	27	23	20	20
平均介護度		1.9	2.1	2.2	1.9	1.8
介護事業収入	円	21,663,415	21,636,412	19,825,815	17,846,617	19,428,165

利賀

	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
定員	人	12	10	10	10	10
開所日数	日	243	243	244	244	243
延利用人数	人	2,048	1,803	2,038	2,056	2,168
利用平均人数/日		8.4	7.4	8.4	8.4	8.9
平均実利用者数/月		25	26	25	21	23
平均介護度		1.1	1.2	1.2	1.4	1.5
介護事業収入	円	14,475,870	14,377,967	16,806,525	17,334,855	19,302,425

⑥ 人件費 職員16名分（平8名、上平4名、利賀4名）

⑦ 運営推進会議の開催

概要	利用者家族、地域住民の代表者等に提供しているサービス内容を明らかにすることにより、サービスの質の確保を図ること等を目的として義務付けられ、各地域密着型デイサービス事業所が開催する（年2回）		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の報告（利用者数、利用者の平均要介護度等） ・活動状況の報告（行事開催状況、地域との交流状況、ボランティア受入状況等） ・施設運営管理状況の報告（修繕状況、ヒヤリハットの報告等） ・意見交換 		
	平	上平	利賀
開催日	① 10月28日 ② 3月〔新型コロナウイルス感染防止のため、資料郵送のみ〕	① 7月19日 ② 2月26日	① 6月11日 ② 12月18日
参加者	① 18名 ② ー	① 13名 ② 10名	① 11名 ② 10名

37 生活支援ハウス運営事業

市指定管理者制度により、平生活支援ハウスの運営管理

事業所名 : 南砺市平生活支援ハウス

指定管理期間 : 平成29年4月1日～令和6年3月31日 (3/7年目)

- ① 主な修繕 (10万円以上) なし
- ② 固定資産取得支出 (10万円以上) なし
- ③ 更新及び取得した主な設備・備品 (10万円未満) なし
- ④ 利用状況

	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
定員	人	12	12	12	12	12
平均実利用者数/月		6	5	7	8	6
利用料収入	円	999,779	861,136	1,139,669	1,154,458	1,027,639

※入居の申請及び判定は南砺市において行う。

- ⑤ 人件費 職員1名分